

環境水道委員会 行政視察（視察先案）

	視察項目	視察先	視察内容
1	下水道アセットマネジメント	仙台市	同市では、下水道管の増加や老朽化により維持管理や更新業務が増大する一方、料金収入などの経営資源の減少傾向に備えるために、効率的な事業運営を推進するとしており、その取り組みを本市の上下水道事業の参考にする。
2	エネルギーパーク須本	兵庫県洲本市	同市では、再生可能エネルギーの活用推進による地域活性化を図るとともに、再生可能エネルギー活用設備での見学等の受け入れにより、市民への啓発普及を行っているため、その現状を視察し、本市の取り組みの参考とする。
3	先駆的な水素エネルギー利用技術開発事業の推進	神戸市	同市では、水素スマートシティ神戸構想として、公民連携のもと水素エネルギーの利活用拡大のためさまざまな取り組みを推進している。未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業（NEDO助成事業）は、液化水素を海上輸送し、日本で荷揚・貯蔵を行うシステムの構築を目指す世界でも例のない先駆的なプロジェクトで、民間事業者と連携して取り組んでおり、本市の参考とする。
4	南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた名古屋市震災対策計画の実施	名古屋市	同市では、地震災害による被害の軽減のために、「災害対応力の向上」、「災害に強いまちづくり」、「地域防災力の向上」の3つの方針のもとで、14の目標、33の施策項目、延べ178事業を体系化してその進捗状況を公表するとしている。本市における巨大地震への備えを強化するための取り組みの参考とする。
5	京都市におけるSDGsの推進	京都市	同市のSDGsの取り組みは、日経グローバルが持続可能性の観点から独自に実施したSDGs先進度の調査で、経済、社会、環境のバランスが取れた発展につながっているとして総合評価がトップとなった。その取り組みを本市の参考とする。
6	名古屋大学減災連携研究センター	名古屋市	名古屋大学の減災連携研究センターは、「東海」「東南海」「南海」の3連動地震などによる巨大災害や近年頻発している風水害に対して、産官学民の地域密着型の様々な連携により、それら被害を軽減していくための戦略について、研究、人材育成などを通じて構築していくことを目指している。本市における危機管理の取り組みの参考とする。

【裏面につづく】

	視察項目	視察先	視察内容
7	SDG s の普及啓発	静岡市	同市では、SDG s の認知度 50%を目指して、昨年5月の国連本部での演説に始まり、様々なSDG s 普及啓発の取り組みを進めている。これを強力に推進するため、本年1月3日から12日までをSDG s ウィークとして、講演、意見交換、先進事例発表など種々の取り組みを行っており本市の参考とする。
8	リコージャパン岐阜支社の省エネの取り組み	リコージャパン岐阜支社 (岐阜市)	同支社は、太陽光パネルや蓄電池の設置、照明・空調の自動制御などでエネルギー消費を大幅に削減する「ゼロ・エネルギー・ビルディング(ZEB)」の基準を満たしている。社屋を「まるごとショールーム」として位置づけてお客様に紹介し、ノウハウを提供してお客様や地域社会とともに脱炭素社会実現やSDG s 達成の取り組みを推進しており、本市の参考とする。